
イオン9任務外報告 後編

pokemomtyan

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

イオン⑨任務外報告 後編

【NZコード】

N1041V

【作者名】

pokemomtyan

【あらすじ】

新メンバーは一体、誰なのだろうか？

新メンバー登場（前書き）

感想を長めに書いてね。

新メンバー登場

扉を開けて、3人の新メンバーが現れた。

武井咲（ほら！この3人だつたら、そんなに毒もないし六式も使いこなせそうでしょう）

三浦春馬（確かに中々、良い面構えをしておるのう笑。）

戸田恵梨香（確かに、あんたに人選を頼んでて良かつたわ。私は何かドラマの舞台裏で色々、嫌われているみたいだし友達作りが下手だからね。）

菅田（戸田さん…そんな人やつたんや…何か寂しいな…泣。俺が友達になつたろか？）

戸田（私に話しかけるな怒！関西弁。私は神戸出身だけど、関西弁が阪神淡路大震災の時から関西が嫌いなんだよ怒！標準語を話せ怒！）戸田は突然、机を叩いて怒鳴り散らした。

菅田（えー！そりや無いわ叫！）

岡田（如何でも良い…武井、この3人に自己紹介をさせろ怒…）岡田は半ギレの状態で、右肩に停まっている鳩の鳩吉に、剛力が買つて来た、自身が踏みつぶしたドーナツを千切つて与えた。

三浦＆玄馬（こ・恐い…）

武井（それじゃあ、紹介してね 3人共笑。）3人の内、一人が自己紹介を始めた。

松坂桃李（ちーす！同じ咲ちゃんとのドラマで共演していた、松坂です。咲ちゃんに頼まれたのと、イオン9つて殺しが正当化されるつて聞いたので、ぶつかけマジ俺はストレス溜まつてるのでまあ、解消目的でイオン9に入ろうと思いました。今、ドラマが終わって二ート状態なので、六式を極めて人をガンガン殺して行こうと思います！お願いします）

三浦（ワシが初めて、イオン9に来た時の頃を思い出すのう…松坂君や賀来君はワシよりも1歳上じゃが、この仕事は現実は甘く無

いぞ笑。まあ、頑張れよハイ次！）

賀来賢人（ハイ！俺は第1に咲ちゃん！第2に咲ちゃん！第3に咲ちゃん！目的で来ました笑！俺もストレスが溜まっている現代人なので人を殺しまくつて、咲ちゃんに格好良いところを見せて、咲ちゃんと肉体関係を持ちたいと思い此処に来ました 宜しくお願ひします）

武井（賀来君・・セクハラです。今もそうだけど、私のスーツの胸元や足の太ももばかり見ないでください・・貴方は、ドラマの現場でもそうでしたがセクハラ王ですね・・呆。麦わら帽子を被つてセクハラ王に・・俺はなる！とか言わないでくださいね呆・私は怒ると恐いですよハイ次の方。）

永山絢斗（如何もこんにちは。兄の瑛太のドラマは大体が数字が良いのに、今回のドラマ・・それでも生きて行く、が視聴率が悪くて毎晩、机に向かって頭を搔き箒つて泣いている兄を見ている、永山です・・好きな言葉は、弱肉強食・・この世は弱い奴等は消えていくので、俺は強者になつて、個人的に嫌いな奴を殺したいのと・・最近、兄の嫁の木村カエラに対して、欲情を感じるので・・雑念を振り払い強くなるために此処に来ました・・後、俺も咲ちゃんにはメロメロです。如何か宜しくお願ひします。）

菅田（うははは笑。変な奴ばっかりで面白いな笑！）

戸田（まあ、何と無く腕に覚えはありそうね・・笑。）

武井（アスキーの収録現場の時に、テストたして皆に指銃をさせて木材を貫通させるテストをやって、この3人は見事、木材を貫通させました笑。ただ・・笹野さんが・・ワシは六式を極めて、イオン9に入りたいんじゃ！つて叫んで、六式をやつた際に指を折つてしまいぎやーぎやー喚いていた時は、私はほくそ笑みましたがね笑。）

賀来（ハハハ笑。笹野さんは凄かつた！ワシはイオン9に入りたいんじゃーつて叫びながら、折れてもやろうとしていたもん。）

武井（賀来君・・セクハラです怒。）武井は怒りながら睨んだ。

賀来（す・スマセン泣。）

三浦春馬（咲ちゃんも恐いの？・所で岡田さん・・・アンタは新メンバーをどう思つんじゃ？）三浦が岡田に話を振った時に、岡田は額に青筋を立てて、半ギレになりながらコップに入ったコーヒーをストローでぶくぶく泡立てていた。

菅田（オイ怒！岡田！何とか言つたらどうなんや怒ー）辺りに緊張が走つた。

岡田（菅のアホの「ミミ脣をどう殺すのかを考えてい、話をそんなに聞いていなかつた怒・・・ただ、指銃を出来ると言つ事は、其れなりの素質はある・・しかし、指銃が出来なかつたら、中島、市川、土肥の用になる・・覚えておけ・・）

松坂（あの・・ちょ！聞きたかつたんすっけど、あの三人つて何で辞めたんです菅？）

岡田（辞めたです菅怒・・お前、何を言つてるんだ？）

三浦（あわわ・岡田さん。此れは多分、菅田語じやと思つから落ち着いて・・）三浦の手は震えていた。

松坂（え？此れは今、流行の菅語です 笑。）

三浦&玄葉&戸田&武井&菅田（言つおつた一叫！に・逃げないと叫！）

松坂（は？何言つてるんすっか？俺はただ、菅語を・・）松坂が正面を向いたときには遅かった。

岡田（喰らえ新人怒・脱原発指銃！）松坂は腹に諸指銃を喰らい血を吐いて会議室の隅まで飛ばされた。

戸田（ちょ・生きてるあの子？）

松坂（が・・が。）松坂は血を吐きながら、白目を向いていた。

岡田（軽い攻撃を喰らわしだけだ・・死にはしない・・・ただ、

賀来、永山・・）

賀来&永山（は・ハイ！）二人は冷や汗を垂らした。

岡田（口は慎まねえと、松坂の用になるぞ怒・・其れとイオン9は別に何時でも辞めれるようになつてている。市川は舞台や映画の仕事があるから・辞めた。）

賀来（え！そんなに簡単に辞めれるんですか？）

武井（ふふふ笑。私達は絆とか友情とかアホらしいし、高校生が部活を辞めるくらい簡単な事よ。）

永山（そ・そんなに絆が無いの叫！）永山は目を飛び出して驚いた。
岡田（ただ・・中島と土肥の場合は俺が殺した・・）岡田は口元では笑っていたが、目は睨んでいた。

賀来（な・何と！）すると、さつき蹴り飛ばされていた、剛力が立ち上がった。

剛力（うわ・・血が出てる。もづ、岡田さんや皆！酷いよ笑！女の子を蹴り飛ばすなんて・・）剛力が話そうとしたときに、岡田が剛力の顔に蹴りを食らわし、其れに合わせて、武井も剛力を蹴り飛ばし、玄葉は剛力の顔を拳で殴り、最後に三浦が剛力の胸に指銃を食らわした。

剛力（がはあ吐・・血が止まらない・・へへへ笑。私は添え物だし打たれ強いからい・いてるんだよ笑た・楽しいな・へへへ笑。）

武井（無礼者叫！お黙り！漬物！まあ・・この用に、職場いじめも昨今の会社のように激しいわ笑。）

岡田（どうだ・・気に入つたろう。まさか・・イオン⁹を入れて1日もたつていななのに、辞めたいと思ったのか？）松坂も起き上がって、整列した。

新人3人（は・ハイ！頑張りたいです・・）3人は声を震わせていた。

菅田（がはは笑よろしい！新人歓迎会をするぞ！）

三浦（ヨシ笑。皆さんで今日は、仕事をサボつてボーリング場に行くぞ・岡田さんや玄馬さんも仕事をサボるじゃろう？）

岡田＆玄馬（勿論・俺達は被災地がどうなるうが、国がどうなるうが、国民がどうなるうが関係ない！）

戸田（ちょ・・マジでこの人達は酷い・・）一同はボーリング場に行つて楽しんだ。

武井（うわ～い 六式を極めているから、球を投げたらピンに全部

当たるし楽しい（）

三浦（良いか笑。此れは遊んでいるのではなくて、六式の訓練にもなるのじゃ！三人共頑張れ！）

賀来（うおー！俺！3回連続ガーターだ泣！）

菅田（ハハハ笑。下手やな笑。次は俺の番か）菅田がボールを持った時に、外が騒がしくなつた。

玄馬（何かあつたの菅？）

岡田（菅だと怒・・・）

玄馬（す・スイマセン。何でも無いです。）

民衆（大変だ！ヤンキーのスノーボードの國母がチンピラを連れて、人をぶん殴り始めた！）外では國母が調子に乗つて暴れはじめていた。

國母（スノーボードは冬にやるもんだけど笑。今は夏だし・・喧嘩じゃこら怒！）

民衆は殴られまくつていた。

仲間A（へへへ笑。國母さん！ちょー樂しいっす）

國母（ハハハ笑。そうだろう。俺は女にもモテるし、メダルも今度は取れるぞ 所詮、世の中なんてやつたもん勝ちだ叫！ハハハハハ。）

女（ハハハ。國母さん！マジ格好いい）

國母（へへへ笑。そうだろう。カラ怒ージジイー金を出しゃがれ怒。）

ジイサン（此れは・・孫のオモチャを買うためのお金で・・泣。）

國母（うだうだ抜かすな！）國母はジイサンを殴り飛ばした。

孫（じいちゃん！）

國母（うはは笑！ちょー楽しい 店の金品も盗みまくれ笑！ハハハハハ。）すると、一人の美少女が資生堂のリップを口に塗つて、國母の仲間の前にやつてきた。

仲間A（おー何！可愛いじやん ねえ、カラオケ行かねえ？）

武井（ふふふ笑。アスコー指銃！）仲間Aは心臓に武井の指銃を喰

らい血を吐いて死んだ。

國母の女たち（きやうケンが！）

國母（お前・・怒。何をしてくれとんのじや怒！俺は冬季オリンピックにも出た英雄やぞ怒！）

三浦（口ほどにも無いのう・・だから、メダルも取れんのじや笑。）
三浦は自身の仕込み刀を一本抜いて、國母の仲間を一気に5人も斬つた。

仲間B（オイ！國母！コイツ等・・マジつええ・・）無数の仲間たちは、イオン⁹のメンバーにぼこられていた。

松坂（アスコー 指銃！）

仲間C（うわ！痛え泣！）

戸田（中々ね でも私はこんな能力を持つているのよ ）

仲間D（死ね！）仲間Dは鉄パイプを戸田に向けて、殴りつけたが

戸田は自身のサビの能力で鉄パイプを鎧びつかせた。

仲間D（ひ～・・変な模様の実か！）

戸田（死神の目・・）

仲間D（ひ～動けない。）

永山（指銃！）

仲間D（ぎやー！）血を吐いて倒れた。

菅田（ハハハ笑。コイツ等に俺の能力出せんでも、六式で倒せるわ笑！）

賀来（俺は小さい頃に変な模様の実を食べた・・能力を発動させてやる。）賀来の体は巨大化した。

仲間E（な・何なんだー叫！）

賀来（麒麟のパワーで踏みづぶしてやる！）仲間Eや他の奴等はは踏みづぶされた。

菅田（うはは笑！何と無く名前から、思つてたけどやっぱ菅 おもろい能力や笑！）

賀来（おもうい能力・・俺、昔からそれ言われるの傷つくんです泣。）

武井（更に・・私の能力で機械油でお仲間さんもべとべとにしたし、どうする？）

國母（うわ・・やべえ。逃げろ！）すると、前に岡田が立っていた。

岡田（喰らえ・・放射能を含んだワラが発見された・・指銃！）

國母（ぎやー！）國母は血みどろになつた。

武井（ハハハ笑。大体片付いたね。）

剛力（こっちも殺したよ）

玄馬（良い、初陣になつたな三人共。）

松坂（こうやって六式を極めるのか。）

菅田（ハハハ笑。賀来の能力がウケるわ笑。）

賀来（だから、気にしているから言わないでください。）

三浦（おい・・岡田さんを止めんと！）岡田はまだ、攻撃を止めず、蹴り続けていた。

岡田（何が勝者だ怒・・お前なんぞ俺みたいな勝ち組と比べたら、屁でもねえよ・・あ？コラ・・調子に乗るなよスノボーキチガイ・・缶以下だ・・いや同等だコラ・・）岡田は笑いながら國母を蹴り続け、國母な顔は踏まれ続けぐちゃぐちゃになり、手や足も折れて変形していた。

三浦（岡田さん！こっちは殺したし、そいつは息も無いから、腹が減つたしマックでも行こうかい。）

岡田（行くか・・やはり殺しは楽しいな・・）辺りからは賞賛されて、武井は少女から花をもらつた。一同はマックに行つた。そして、あいつ等が居た。

前田敦子（あ～あ・・ワシのドラマの数字が2回目で6%やぞ・・菅の支持率以下つてどういうこと何だ怒！腹が立つ。）

篠田（ハハハ笑。私が出た方が良かつたね）

高橋（とりあえず、落ち着け。他でも挽回の余地はある。）3人が店を出るときに、イオン9のメンバーと入れ違い、前田と岡田の両者は目線が合い睨みあつた。

岡田（今の出て行つたのは・・秋元の組織だな・・・）

武井（ふふ笑。私の方が断然、綺麗だけどAKB48ね。）

岡田（決めた・・俺はYUJIと再び闘いたいが・・AKB48も潰す。）

完 次回は新章に突入！

新メンバー登場（後書き）

感想を長めに書いてね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1041v/>

イオン9任務外報告 後編

2011年10月9日02時50分発行